

1 指導概要

教 科		科 目		
国語		国語入門	単位数： 2単位	
指導目標： 高校国語の学びを始める前の復習として、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。また、自分の欠点と長所を把握することで、高校国語での学習充実を目指す。				
メディア視聴	事情に応じて許可（東京書籍） ①視聴講座を 100%視聴 ②確認テストクリア	60%	教科書	東京書籍「高校国語入門」
スクーリング	1 単位時間×2 回	合格時間 数2時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし
試験	あり	試験評価 割合 70%	評 定	100 点法 5 段階評定
回	高校通信教育講座 （単元・学習内容）	レポート （締切期日）	スクーリング （日程と内容）	
1	漢字のまとめ ①・②	第 1 回 (4/30)	第 1 回	【現代文②随筆 ③評論】 ※随筆、評論それぞれの読み方を理解しながら、課題文を通読する。 ※筆者の主張(主題)は何であるか、自分の考えをまとめる。
2	漢字のまとめ ③・④ 語句の意味	第 2 回 (5/30)		
3	言葉のきまり 現代文① 小説	第 3 回 (6/30)		
4	現代文② 随筆 現代文③ 評論	第 4 回 (7/30)		
5	現代文④ 韻文 古文入門	第 5 回 (8/30)		
6	漢文入門 日本の文学	第6回 (9/30)	第 2 回	【漢文入門 日本の文学】 ※漢文の読み方、返り点、送り仮名、書き下し文について確認し、読み方の順番を習得する。 ※『早発白帝城』を読み、情景や作者の

		提出期限 (11/30)		心情について自分の考えを深める。 ※漢詩の形式を理解し、絶句・律詩の違いについて説明できるようにする。 ※絶句と律詩について、音韻となる句末を理解する。
		※提出予備日 (1/15)		

2 評価の観点

知識・技能	テストの結果で評価します。
思考・判断・表現	レポートの最終問題で評価します。
主体的に学習に取り組む態度	スクーリング時に取り組む姿勢や、成果物で判断します。 ※メディア視聴の成果もこの観点で評価します。

3 評価の方法

上記の観点に基づき、年度末に 5 段階で評定を出します。 【知識・技能】テスト結果（7 割） 【思考・判断・表現】レポート最終問題(2 割) 【主体的な態度】スクーリングの時の成果物（1 割）
--

4 担当者からのメッセージ

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。面接指導だけで教科書の全範囲を解説することは難しく、説明のスピードも速くなります。教科書を読み、各回の範囲を予習し、レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。分からないところは教科担任に聞くのもいいでしょう。色んな本を読むことをお勧めします。